

防滑性

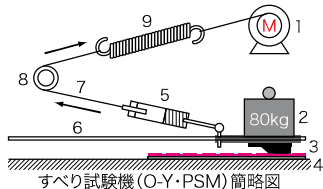
■ バランス良い適度な防滑性が転倒事故を防ぎます。

床材の安全性を考える上で防滑性は一つの重要な要素となります。

滑り過ぎる床はもちろんのこと、極端に滑りにくい床もつまずきや転倒の危険性があり、空間に応じて適度な防滑性が要求されます。

■ 試験方法……JIS A 1454 高分子系張り床材試験方法「滑り性試験」

東京工業大学の小野研究所が開発した滑り試験機によるOY-PULL法にて試験を行っています。実際の歩行に最も即している試験方法と言われ、滑り片に実際に使用する履物の底を貼り付け、80kgfの荷重をのせ、18°の角度で引っ張った時に得られる最大引張り荷重を測定し、その値を差載荷重量(80kg)で除した値(C.S.R.値)をすべり抵抗の評価指数としました。



- 1. 定速モーター
- 2. 重錘(鉛直荷重用)
- 3. 滑り片台座
- 4. 試験体(測定対象物)
- 5. 荷重変換器
- 6. ガイドレール
- 7. ワイヤ
- 8. 滑車
- 9. 引っ張り荷重速度調整器

■ 床材のすべり最適値および許容範囲(下足床)

(C.S.R.値)

想定履物	すべり測定結果	商品名	すべる ← 0.4 0.6 C.S.R. 0.8 1.0 → すべらない
○ 最適値 ◀ 許容範囲 ▶	動作	歩行	0.4 ~ 1.0
		駆け出し	0.4 ~ 1.0
		急停止 方向転換	0.4 ~ 1.0
紳士靴 (合成ゴム底)	◆ 乾燥状態 ◆ 水+ダスト	ナーシングフロア	0.51 ~ 0.77
		ストロング	0.51 ~ 0.79
		SKフロア	0.47 ~ 0.80
		メディウオーク	0.52 ~ 0.73
		サーフェス	0.58 ~ 0.93
		グラニット	0.48 ~ 0.84
		オデオンPUR	0.49 ~ 0.81
		メガリット	0.47 ~ 0.87
		メディントーン	0.53 ~ 0.77
		オフフロア	0.49 ~ 0.72
		プレーンエンボス浴室使用可能タイプ	0.53 ~ 0.66
		ニューセーフティ(プレーン)	0.50 ~ 0.81
		ニューセーフティ(オーク・コンクリート)	0.58 ~ 0.93
		エスリュウム・ジャットパッド	0.55 ~ 0.94
		エスリュウム・ウィーブ	0.54 ~ 0.82
		エスリュウム・ミスト・ルーミー	0.57 ~ 0.87
		エスリュウム・マーブル2.0mm	0.57 ~ 0.80
		消臭レストリュウム PM-20956~20957	0.55 ~ 0.85
		消臭レストリュウム PM-20958~20965	0.54 ~ 0.81
		PX-751~753	0.51 ~ 0.72
		PX-820~822	0.61 ~ 0.85
		PX-870・871	0.61 ~ 0.85
		PX-881~883	0.54 ~ 0.77
		PX-801~804	0.54 ~ 0.77
		PX-810~813	0.61 ~ 0.85
		PX-840~842	0.61 ~ 0.85
		PX-580~583	0.56 ~ 0.73
		PX-570~572	0.58 ~ 0.88
		PX-590・591	0.54 ~ 0.72
		PX-530~532	0.58 ~ 0.77
		PX-550	0.57 ~ 0.80
		PX-610~613	0.65 ~ 0.86
		PX-201~203	0.61 ~ 0.93
		PX-951~953	0.64 ~ 0.79
		PM-981~983	0.53 ~ 0.79
		PX-8601~8694	0.61 ~ 0.85
		PX-8901~8934	0.63 ~ 0.79
		フロテックスシート	0.67 ~ 0.85
		フロテックス(プランク・NT-1200)	0.67 ~ 0.85
		フロアタイル	0.51 ~ 0.86
カーベットタイル(NT-700)	0.70 ~ 0.89		
ウッドフロア	0.48 ~ 0.86		

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。品番により数値が異なる場合があります。

■ 浴室床のすべり最適値および許容範囲(C.S.R-B)

素足での滑り性を想定した試験で、C.S.R値と同じ試験をすべり片を変更し「水+ダスト」と「0.3%石鹼水」の状態ですべり測定します。

想定履物	すべり測定結果	商品名	すべる ← 0.8 0.9 CSR-B 1.0 1.1 → すべらない
素足 (ゴム製すべり片)	◆ 0.3%石鹼水	オフフロア	1.07 ~ 1.07
	◆ 水+ダスト	プレーンエンボス浴室使用可能タイプ	1.06 ~ 1.09
		※参考 一般ビニル床シート	0.96 ~ 1.01

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。

■ 数値の判断基準は？

優れた防滑性を持つ床材の条件とは、乾燥し清掃された状態と、水や土砂が付着した状態で防滑性能の差が小さいこと、つまり、どのような状況下でも滑りやすさ、つまずきやすさの変化が小さいことです。